



二つの観光振興事業、進行中

観光協会では、相模原市地域別観光振興計画に関する事業を市から受託しています。以下、その概要をお伝えします。

(1) 藤野北部地域（沢井・佐野川）観光振興推進事業
昨年度策定された計画に基づいて、今年度は陣馬山からいかに藤野地区に誘客するかをメインテーマに取り組んでいます。具体的には、陣馬山山頂に藤野地区の魅力が分かりやすく、親しみやすく伝える案内板を設置する、陣馬山から藤野駅までの要所に駅までの方向と距離を示した道標を設置することです。高尾山人気の影響もあり、陣馬山を訪れる観光客は非常に増えつつありますが、そうした観光客の多くが藤野地区に降り、何らかの経済効果を生むことにつながると期待しています。



(2) 藤野南部地域（牧野）観光振興計画の策定
牧野地域は、平成 20 年策定の「新相模原市観光振興計画」において設定された 9 つのエリア別観光振興計画のうち、「牧野里山エリア」に属します。このエリアの観光振興を住民の立場から考えるのが、藤野南部地域観光振興計画です。そのため南部地域の住民からなる検討委員会を発足させ、精力的に計画策定に向けて議論を重ねています。南部地域は面積が広く、集落も散在して 20 を数え、しかもそれぞれの伝統を継承しており、全体像をまとめることは難しいです。しかし、芸術の家、2 つの日帰り温泉といった集客力のある観光施設をもつほか、個性豊かかつ手作り感抜群のイベントが数多く開催されるなど、魅力に事欠きません。年度内には計画が完成します。



「藤野の未来のために」

藤野観光協会 監事 三樹常弘

私が観光協会に入会したきっかけは代表理事、副代表理事に薦められて、各種の行事に参加し、その際に商品を納入したことです。時がたつのは早いもので、入会して 3 年になります。

以前、私は JA 職員として藤野園芸ランドの山芋、栗、サツマイモ収穫体験などの観光農業の支援をしていました。その後 JA を退職し、コンビニエンスストア「スリーエフ藤野店」をオープンさせ、早や 20 年余りたちました。自分の仕事が観光協会と関係あるのか半信半疑、不安でしたが、今では監事を任されるまでになりました。不慣れなことが多々ありますが、観光協会の活動に貢献できるよう、日々取り組んでいます。

人口の少ない藤野では観光協会を中心に観光振興をしていくことが、地域活性化のカギになります。その意味では、私のような観光業者ではない者も、若い世代の者もどんどん観光協会に加入し、活動の担い手になる必要があると思います。興味のある方は一度活動に参加し、会員になってほしいと思います。新しい発見、勉強になることがあり、友人関係も深くなります。みなさんで交流を通し、楽しい会にしていきたいと思います。

観光協会の今後の課題としては、駅前の観光案内所「ふじのね」をもっともっと宣伝すること、緑のラブレターのビュースポットを考えること、国道 20 号の歩道を整備すること、園芸ランドをより活性化していくことなど



があげられます。それらを解決することによって、観光客が訪れやすい藤野にしていかなければならないと思います。素晴らしい自然に囲まれた藤野の農業、山、湖、温泉などを組み合わせて楽しんでもらうような仕掛けを考えていくべきでしょう。このようにして、藤野をアピールし、観光協会も発展していくことができれば、私としても加入した意味があることになりそうですし、担い手の一人としてこれからもがんばっていくことができます。

今後、事務局や理事だけではなく、諸団体、地域の方々とどんどん意見交換をし、一人でも多くの人と活動をとものにできれば最高だと思います。また、この通信を読んで、観光協会にやってほしいことや気づいたことがあれば、些細なことでも結構ですので、事務局または役員に連絡をいただけたらと思います。

かつてのように観光バスが園芸ランドなどを訪れるようなまちになるよう、みなさんで力を合わせて、がんばっていきましょう。

